

被ばく線量の分布等について

1. 被ばく線量

福島第一原子力発電所にて放射線業務に従事した作業者の過去3ヶ月の外部被ばく線量分布（各月別の全入域者数）を表1に示す。

表1

区分(mSv)	H25.11月			H25.12月			H26.1月		
	東電社員	協力企業	計	東電社員	協力企業	計	東電社員	協力企業	計
100超え	0	0	0	0	0	0	0	0	0
75超え～100以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50超え～75以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20超え～50以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10超え～20以下	0	32	32	0	22	22	0	29	29
5超え～10以下	5	303	308	2	197	199	0	218	218
1超え～5以下	120	1533	1653	115	1606	1721	69	1446	1515
1以下	954	3700	4654	969	3867	4836	855	4120	4975
計	1079	5568	6647	1086	5692	6778	924	5813	6737
最大(mSv)	9.20	16.91	16.91	5.40	16.81	16.81	4.15	15.12	15.12
平均(mSv)	0.48	1.28	1.15	0.44	1.11	1.00	0.32	1.08	0.97

※A P D値の積算値の積算型線量計による月間線量値への置き換えや、積算型線量計のみの着用者（例：免震棟のみの作業者）の値の反映等により線量・人数が変動することがある。

2. 外部被ばく線量と内部被ばく線量の合算値

福島第一原子力発電所にて放射線業務に従事した作業者の12月末（H23.3.11～H25.12.31）と1月末（H23.3.11～H26.1.31）の累積線量分布の比較を表2に、12月末（H25.4～H25.12）と1月末（H25.4～H26.1）の累積線量分布を表3に示す。

表2

区分(mSv)	H23.3～H25.12月			H23.3～H26.1月			増減		
	東電社員	協力企業	計	東電社員	協力企業	計	東電社員	協力企業	計
250超え	6	0	6	6	0	6	0	0	0
200超え～250以下	1	2	3	1	2	3	0	0	0
150超え～200以下	24	2	26	24	2	26	0	0	0
100超え～150以下	118	20	138	118	20	138	0	0	0
75超え～100以下	256	112	368	258	117	375	2	5	7
50超え～75以下	323	854	1177	325	878	1203	2	24	26
20超え～50以下	609	4204	4813	610	4291	4901	1	87	88
10超え～20以下	543	3887	4430	544	3952	4496	1	65	66
5超え～10以下	431	3683	4114	432	3783	4215	1	100	101
1超え～5以下	707	6829	7536	722	6970	7692	15	141	156
1以下	1068	7704	8772	1062	7917	8979	-6	213	207
計	4086	27297	31383	4102	27932	32034	16	635	651
最大(mSv)	678.80	238.42	678.80	678.80	238.42	678.80	-	-	-
平均(mSv)	23.63	10.99	12.63	23.61	10.96	12.58	-	-	-

※A P D値の積算値の積算型線量計による月間線量値への置き換えや、積算型線量計のみの着用者（例：免震棟のみの作業者）の値の反映等により線量・人数が変動することがある。

※H23.10月以降、有意な内部取り込みは認められていない。

表 3

区分(mSv)	H25.4～H25.12月			H25.4～H26.1月			増減		
	東電社員	協力企業	計	東電社員	協力企業	計	東電社員	協力企業	計
100超え	0	0	0	0	0	0	0	0	0
75超え～100以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50超え～75以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20超え～50以下	21	386	407	24	465	489	3	79	82
10超え～20以下	55	1386	1441	64	1593	1657	9	207	216
5超え～10以下	159	1589	1748	169	1714	1883	10	125	135
1超え～5以下	654	3278	3932	667	3426	4093	13	148	161
1以下	720	4088	4808	716	4316	5032	-4	228	224
計	1609	10727	12336	1640	11514	13154	31	787	818
最大(mSv)	34.88	39.70	39.70	36.61	39.96	39.96	-	-	-
平均(mSv)	2.69	4.74	4.47	2.82	4.96	4.69	-	-	-

※APD値の積算値の積算型線量計による月間線量値への置き換えや、積算型線量計のみの着用者（例：免震棟のみの作業員）の値の反映等により線量・人数が変動することがある。

3. 特定高線量作業従事者の外部被ばく線量と内部被ばく線量の合算値

特定高線量作業従事者^{※1}の累積線量分布を表4に示す。

表 4

区分(mSv)	H25.11月	H25.12月	H26.1月	H23.3月～H26.1月
100超え	0	0	0	1
75超え～100以下	0	0	0	151
50超え～75以下	0	0	0	213
20超え～50以下	0	0	0	235
10超え～20以下	0	0	0	125
5超え～10以下	5	2	0	91
1超え～5以下	116	105	62	130
1以下	504	521	512	43
計	625	628	574	989
最大(mSv)	9.20	5.40	4.15	102.69
平均(mSv)	0.66	0.60	0.39	37.49

（1月の特定高線量作業従事者は646名おり、その内72名については現場作業実績なし）

※1 特定高線量作業従事者

電離放射線障害防止規則第7条の緊急被ばく限度（100mSv）が適用されるとされている作業に従事する者。具体的には、発電所に属する原子炉施設並びに蒸気タービン及びその付属設備又はその周辺の区域であって、その線量が1時間につき0.1mSvを超えるおそれのある場所において、原子炉施設若しくは使用済燃料貯蔵槽を冷却する設備の機能を維持するための作業を行うとき又は原子炉施設の故障、破損等により多量の放射性物質の放出のおそれのある場合に、これを抑制若しくは防止するための機能を維持するための作業に従事する者を指す。

なお、これまでの特定高線量作業従事者については東電社員のみが対象者である。

※2 各月の特定高線量作業従事者は、当該月に特定高線量従事者として申請していた従事者人数である。

ただし、H23.3月～H26.1月の累計については、特定高線量作業従事者を解除した者も含む。

※3 APD値の積算値の積算型線量計による月間線量値への置き換えや、積算型線量計のみの着用者（例：免震棟のみの作業員）の値の反映等により線量・人数が変動することがある。

※4 H23.3月～H26.1月の累計の最大値（100超え）は、H23.3月の内部被ばく線量を見直したことに伴うものである。